

# 山直中学校だより

平成29年7月14日(金)  
岸和田市立山直中学校  
岸和田市三田町1030番地  
電話 445-5892  
FAX 445-5869

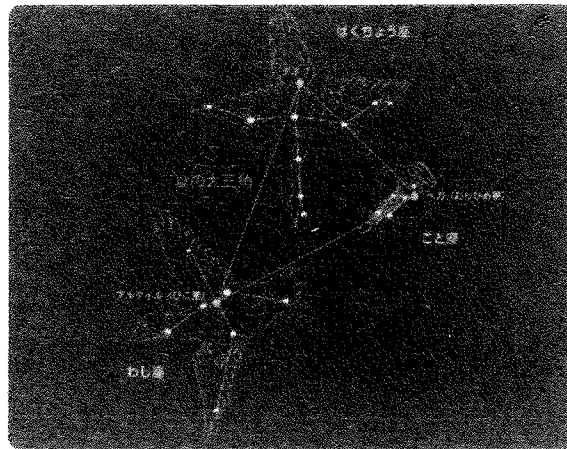
## ○七夕の願い事は？

先週の金曜日、配膳室で3年生の女子に「先生はどんな願い事を書いた？」と不意に尋ねられ答えに窮してしまいました。そのとき「あっ、今日は七夕か！」と思い出させてくれ、うれしくなりました。～♪五色の短冊私が書いた、お星様キラキラ空から見てる♪～ 幼い頃、七夕の日に歌った思い出がありますよね？短冊に願い事を書いて竹の葉に飾るという行事は江戸時代から始まったそうです。習い事、芸事の上達に御利益があるとされています。勉強や部活動の上達を書いて飾れば効果があるかもしれませんね。3年生は「合格祈願！」と書きましたか？《五色は青、赤、黄、白、黒》

## 【七夕のお話を知っていますか？】

昔々、天の川の西岸に織姫おりひめという姫君が住んでいました。織姫は機織りの名手で、美しい布を織り上げては父親である天帝を大変喜ばせていました。そんな娘の結婚相手を探していた天帝は、東岸に住む働き者の牛使い彦星ひこぼしを引き合わせ、二人はめでたく夫婦になりました。ところが、結婚してからの生活が楽しくて、二人は仕事をおろそかにするようになりました。これに怒った天帝が、天の川を隔てて二人を離ればなれにしまいました。しかし、悲しみに明け暮れる二人をかわいそうに思った天帝は、七夕の夜に限って二人が再会することを許しました。こうして二人は、天帝の命を受けたカササギの翼に乗って天の川を渡り、年に一度だけ会うことができるようになったのです。

夏の夜空を見上げて天の川に輝く、こと座のベガが織姫しよくしよせい(織女星)でわし座のアルタイルが彦星けんぎゆうせい(牽牛星)。この二つの星と白鳥座のデネブを結んだものが「夏の第三角形」と呼ばれています。白鳥座は二人を結ぶカササギです。昔の人たちは夜空を眺めてこんな素敵なお話をつくっていたのですね。

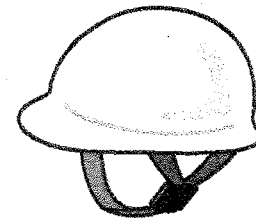


## ○給食が始まって1年が経ちました

中学校の歴史の中で大きな出来事であった給食が始まって1年が経ちました。山直中学校の生徒たちは給食をよく食べてくれています。喫食率は岸和田市内でもベスト3に入っています。給食の運搬や配膳についても手際よく進めてくれています。岸和田市は衛生面を考えてエプロン・マスク・三角巾(帽子)の3点を着用して行っていますが、男子も女子も給食当番はそれが当たり前のようにしてくれています。3点セットを忘れてしまい手持無沙汰てももぶさたにしている生徒も見かけますが、食の安全に関わることなので、きっちり制限しています。忘れても平気になってしまっている人や3点セットを着用せずに配膳室にやってくる人も見かけますが、命にも関わる大切なことだと自覚をして2学期からは配膳室に来る生徒は全員が3点セットをきっちり着用してくれることを期待します。クラスによっては給食の時間に協力的でない人がいたりして給食の準備が遅くてゆっくり食べられない生徒もいるようです。クラスとしてのまとまりも給食指導には影響してくることがわかりました。

## ○自転車通学にはヘルメットが義務づけられています

平成29年度から、自転車通学の生徒にヘルメットの着用を義務付けています。近隣の市町村では、もう何年も前から自転車通学生にはヘルメットの着用が義務付けられていました。阪南市や岬町は私が初任者で赴任したころからすでにヘルメットの着用があたりまえでした。昨年度の大阪府自転車条例の制定で保険加入が義務付けられたことから、安全に気を配って自転車を運転することが必要となりました。以前は自転車は交通事故の被害者になることがほとんどだったのですが、性能が高まるにつれ加害者になってしまう事が大きな問題になってきています。事故を起こしたとき、どれだけ安全に対して意識があったかが裁判でも問われるそうです。ご家庭で自転車の安全な乗り方の話をしていたか？や、そこに付随して子どもに交通安全に対する意識をうえつけていたか？が問われるようです。ヘルメットをかぶるのは、安全に



に対する意識を具体的な行動で表す指標のようなものなのです。中学校では毎日のように着用を呼び掛けていますが、地域の方々からは「学校に近づいてからしかかぶっていないよ。」という声も寄せられています。ヘルメットの着用をしていない生徒を見かけましたら一声かけていただければと思います。

